

一般社団法人障がい者アート協会 2015年度活動報告
(2015年12月～2016年11月)

I. 総括

2016年度は収入が1,230千円に対して支出が1,779千円となり、総体として▲619千円の赤字運営となりました。

これは当初計画していたスポンサー企業様の開拓が思うように図られなかったこと、及び商品化或いはイラスト提供等、他の収益事業構築が遅れたことが原因です。

一方で、活動のメインとなる「アートを通じた障がい者支援」については、これまで発信の場所を持たなかった日本国内の障がい者アーティストの方々に、ギャラリーサイト【アートの輪】を発信場所として提供することで、多くの人々に自身の作品を見てもらい、日々の生活にやりがいや生きがいを見出していただくことができるようになりました。またそれらの参加者全員に作品の優劣にかかわらず、スポンサー企業さまからの収入の一部を一律で作家全員に均等分配する「創作活動支援費」のお支払いも実施することができ、障がい者支援というテーマについては一定の成果を残すことが出来たと判断します。

尚、協会の活動、及び障がい者アートの周知活動についてはフェイスブック等のSNS、或いはインターネット広告等を使い、低コストで多くのファンを獲得出来ている状況にあります。

II. 個別テーマのレビュー

【支援法人開拓（新規営業活動）】

2015年12月以降にご支援を決定して頂いたスポンサー企業様は7社、マンスリーサポーター様1名となっています。

画材メーカー、福祉業界等、期間を定めた中で業界を絞り込み集中的に営業活動を行ってまいりました。成約実績も出ていることから、一定の手応えを感じています。

また現在並行して日本全国の商工会連合会と商工会（1740件）に一斉に取り組みの紹介と支援企業を募集している旨の告知活動を実施しています。

【収益事業開発への取り組み（他社連携）】

障がい者アートを使った雑貨関連商品をデザインしたいという埼玉県内のデザイン会社と連携することにしました。これにより作品単体利用以外にモチーフの切り出しや再レイアウト等商品化の幅が大きく広がりました。

この一年間での実績としてはブックカバー（企業より依頼）、クリスマスカード（企業へ提案、採択）、年賀状（当協会）。デザイン性、或いは提案力と言った

商品化に関するこれまでの課題の一つは改善され一歩前進したと認識しています。

【実施イベント（企画）】

埼玉県鶴ヶ島市の図書館で行われた「障がい者アート展」終了後、ギャラリーサイトにて継続展示しています。

これは現在の展示会が抱える地理的、時間的な課題、及びより多くの人に作品を見て頂く手法という意味で、今後、多くの展示会に付加できる価値の一つと考えます。

【支援対象者数拡大（作家・作品募集）】

現時点で作家数 40 名、650 作品です。周知が少しずつ広がってきたこともあり、個人レベルでの申込みは以前に比べ格段に増えてきました。これにより作家さんの属性、及び作品のバラエティも幅が広がってきておりギャラリーサイトとして魅力、価値が上がってきています。

ただし、個人レベルの参加者拡大に比べ、既存の障がい者支援団体、作業所等の参加を呼び込むことは出来ませんでした。

【支援実績（創作活動支援費）】

6 月から 3 ヶ月に一度実施してまいりました、企業さまからのスポンサー収入の一部を参加作家全員に均等分配するという「創作活動支援費」ですが、ここまで 3 回実施し、来る 3 月の実施で 1 年間継続実施となります。これは金額の問題ではなく、実際に経済的対価を得という事実が、障がいのある人たちにとって社会に認知されていること実感させ、創作活動への意識付けもたらされるという考えのもと始めた取り組みであり、新しい障がい者支援の枠組みです。

III. 財務報告 (2015年度)

貸借対照表

平成28年11月30日 現在

一般社団法人障がい者アート協会

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	18,418	【流動負債】	1,066,506
現金及び預金	18,418	短期借入金	996,506
【固定資産】	55,500	未払法人税等	70,000
無形固定資産	55,500	負債の部合計	1,066,506
商標権	55,500	純資産の部	
【繰延資産】	373,114	科目	金額
創立費	373,114	【株主資本】	△ 619,474
		利益剰余金	△ 619,474
		その他利益剰余金	△ 619,474
		繰越利益剰余金	△ 619,474
		(うち当期純損失)	△ 619,474
		純資産の部合計	△ 619,474
資産の部合計	447,032	負債・純資産の部合計	447,032

損益計算書

自 平成27年12月01日

至 平成28年11月30日

一般社団法人障がい者アート協会

(単位:円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	1,230,141	1,230,141
【売上原価】		
仕入高	129,620	
合計	129,620	
売上総利益		1,100,521
【販売費及び一般管理費】		1,650,017
営業損失		△ 549,496
【営業外収益】		
受取利息	25	25
【営業外費用】		
経常損失		△ 549,471
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純損失		△ 549,471
法人税等		70,003
当期純損失		△ 619,474

IV. 2016年度の方針

- 財務状況の改善
下記事項の取り組みによって年間黒字運営を目指します。
- スポンサー企業の開拓
2015年度に続き「障がい」「アート」に関連性・親和性のある業界に絞り込んで積極的に営業活動に取り組みます。
- 収益事業収入の拡大
スポンサー収入以外の収益が得られる事業開発に取り組む。主には商品化を軸に企業に対してデザイン会社と連携して企画を提案していきます。
- 作家、作品数の拡大
2015年度に実現できなかった支援団体、支援学校、作業所等にアプローチしていきます。
- 広告・メディアの活用
2015年度同様、インターネット広告を中心に、リリース案件によって無料で実施できる手法、低コストで実施できる手法を使い分けながら、積極的にマーケティング活動に取り組みます。

以上

一般社団法人障がい者アート協会
代表理事 熊本豊敏